

令和 6 年度 西之島の郷 事業報告書

特別養護老人ホーム西之島の郷
短期入所施設西之島の郷
西之島の郷居宅介護支援事業所

1 西之島の郷 概要

施 設 の 名 称	特別養護老人ホーム西之島の郷
所 在 地	〒438-0041 静岡県磐田市西之島 26 番地 1
設 置 認 可 日	平成 20 年 3 月 12 日
事 業 の 種 類	

1	事 業 所 名	特別養護老人ホーム 西之島の郷
	介護保険事業種別	指定介護老人福祉施設
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	80 名
2	事 業 所 名	短期入所施設 西之島の郷
	介護保険事業種別	指定（介護予防）短期入所生活介護
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	20 名
3	事 業 所 名	西之島の郷 居宅介護支援事業所
	介護保険事業種別	指定居宅介護支援
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	—

2 施設運営の状況

昨年度「脱コロナ禍」を見据えた施設運営に取り組みましたが、コロナ禍の 4 年間における施設運営への影響は非常に大きく、ご利用者の生活の慢性的な閉塞感や職員とご家族との関係再構築など課題は山積みとなりました。今年度はそれらを克服するために「原点回帰」の年と位置付け、ご利用者の充実した生活を取り戻し、職員の職場環境を守り、施設運営体制の安定を目指し、コロナ禍で失われた日常や課題をひとつひとつ克服していくことを目標に掲げました。

年間の活動を通して、ご家族様との関わりや外部社会資源の活用の在り方など変化も見られ、サービス担当者会議の対面再開によるご家族様との顔が見える関係性の構築や、外出やボランティア活動の再開なども始まり「生活を楽しむ施設」としての施設運営も徐々に動き始めています。しかしながら、慢性的な介護職員不足による欠員での運営や、物価高騰など先の見えない不安定な社会情勢が続くなかでの運営など課題は多く見られています。また、西之島の郷も開設して 18 年目を迎え空調設備等の設備関係に故障や不具合が見られ、大規模な修繕が必要な設備も散見されているため計画的な修繕が必要となっています。新型コロナの感染症については特養で 10 数名の集団感染がありましたが、動線ユニットにて感染拡大を抑止できており大きな混乱は見られませんでした。今後も基本的な感染対策の徹底を継続して参ります。

今年度の職員の状況としては、本年度採用の新卒職員は 2 名ですが順調に成長しております。一部のユニットでは職員の欠員や入替により OJT 教育体制に不具合が生じましたが、現状は改善が見られています。常勤職員における全退職者は 3 名で離職率 7.5% となり、昨年度 4 名と同程度で低水準となっています。離職者数は多くはありませんが、採用職員も見込めないため職員欠員が続く労務過多により職員のメンタルヘルスが心配なところもありましたが、職員欠員が逆に退職しにくい環境をつくりあげたことや脱コロナ禍で更にストレスを発散しやすい生活環境になったことも要因として挙げられます。ご入居者の状況としては、入居者数 35 名（前年度 27 名）、退居者数 36 名（前年度 26 名）と、ともに過去最高の人数となりました。入院については、入院実

人数は30名（前年度19名）、延人数626名（前年度301名）と、ともに昨年度より倍増しており入居者の医療依存度が上がり重症化している傾向が顕著に見られています。ご入居者そして家族の多くが、可能であれば施設での最期までの生活を希望されていますが、状況により外部医療機関に生活を移される選択肢も増えている結果と言えます。入院日数は1回あたり20.9日となり重症化によって病床での滞在日数も増えつつあります。平均介護度は年度当初3.90から年度末3.91と同程度となっていますが、入居者の重症化は年々進んでいる状況です。結果、退居者数は過去最高人数の36名、入居率は95.5%（前年度97.1%）と前年度より1.6%の減少となりました。入院延人数も301名から626名に倍増しており、過去最高の退去者数36名も相まって稼働率が伸び悩んだ原因として考えられます。年間空床数1,239床（前年度854床）のうち626床（前年度301床）の50.5%（前年度35.2%）が入院による空床となっていますが、入院による空床率は前年比15.3%の増加となっております。入所待機による空床日数は平均17.5日（前年度20.4日）と前年より減少していますが、コロナ禍以前は10日以内を目標としておりました。入居までの待機期間を今後圧縮していく必要が稼働率向上のためにも必要と思われますが、入居のご案内をしても即答いただけなかったり、医療機関からの転院の場合は退院調整の日数がある程度必要だったり課題も見受けられます。入所申込者・待機者については要介護1、2を含め104名、要介護3以上で入所意思のある申込者については49名となり、本年度の入所申込者総数は39名でした。本年度も近隣医療機関との連携により退院からの即入居希望者の割合が多数を占めており、医療機関退院からの入居に対するニーズはより一層上がっているように思われます。しかしながら、医療依存度が高く施設に入居されても短期間で転院を余儀なくされたり、入居対象者として厳しい申込者も散見されている状況でもあります。そういった状況を踏まえ、今年度についても待機者の面談についてはできる限り早期に行い早期に状態把握をすることで入居可能な申込者の実態把握に努めました。

3 重点施策の取り組み状況

1 ご利用者が安心・充実して過ごすことのできる生活環境の構築を目指します。

今年度の西之島の郷のスローガンとした「優しい介護」「寄り添うケア」の在り方については各種会議や委員会などを通して接遇マナーについての啓発活動に取り組みました。接遇に関する外部研修等にも積極的に職員参加を促しました。施設全体としては今までより意識高く変化が見られたと思われていますが、ユニットごと職員ごとに格差が見られ、全体を高い水準に導くにはまだまだ時間が必要に思われます。そういった状況でも来訪されたご家族様や介護相談員様から温かいお褒めの言葉をいただく機会も多くあり、職員自身にとっても励みになることがありました。

「生活を楽しむ施設」として、お客様と職員がともに楽しめる企画として食イベントの復活なども開催しましたが、まだまだ以前のような状況には至っておらず、今後もボランティア受入等の地域の社会資源を積極的に活用しお客様の満足度を高めていく必要があります。

ご家族様との連携についてはサービス担当者会議への同席を積極的にお願いし多くの関わりを持たせていただくとともに、お客様の再アセスメントの実施と情報共有を行うことで信頼関係の構築を図りました。

2 職員が安心・充実して働くことのできる職場環境の構築を目指します。

今年度も常勤職員の離職者数は多くはありませんでしたが、学卒職員や中途採用職員のレスポンスは高くなく、年間を通して介護職員欠員状況での運営となりました。応募待ちの求人媒体や就職フェアだけでなく、リクエスト機能の活用など事業所側からの求人アプローチも行いました。

が大きな成果には至りませんでした。介護人材不足の対応も見据えた年度末から来られる2名の介護技能実習生の受け入れについては、新人職員マニュアルおよび中途採用職員マニュアルについて再整備をして、教わる側・教える側双方のサポート体制を整えました。

職員の抱える課題や不安の解消には、メンタルヘルス研修やアンガーマネジメント研修など職員の感情・心のケアに関わる研修を充実させることで、早めの気づきと対応に取り組みました。全職員に向けての定期的な面談やアンケート実施は行えなかったので来年度以降実施していきたいです。また、介護リフトやICT機器等、職員の心身負担の軽減になるような福祉機器の導入についても積極的に検討し、今年度も電動入浴リフト2台を各階に導入しました。

3 施設として安定・適正である運営体制の構築を目指します。

本年度は介護保険制度改定の年度でもあったため、新たな加算管理や収支管理等の適正な運営管理に努めました。BCP や口腔衛生管理体制等の整備を進め、内部研修体制も再構築しました。今後求められる生産性向上の推進体制についても、新たに推進委員会を立ち上げ短期入所事業所とともにメンバーを選出して職員から自発的に取り組んでいける体制を整えました。施設内整備を推進するための設備管理委員会については動き出しが出来なかったので、今後活動を再開し修繕箇所の早期確認と早期対応に努めます。

法人内事業所連携については居宅支援事業所からの送客のスケールメリットの活用とともに、関係医療機関、老人保健施設等との連携強化に努め入所待機者の紹介をいただけています。地域における特別養護老人ホームの役割の発揮や地域貢献活動はいまだ整備が足りないところがあるので取り組みを継続して参ります。

4 各サービス及び各部署実績報告

1 特別養護老人ホーム

(1)介護部

1. ご入居者の基本ケアと個別ケアの充足を図ることで、「楽しいと感じられる生活」が送れるよう支援します。

脱コロナ化の動きにともない今年度は感染対策を行いながら通常生活に戻すことを目標としユニットおよび施設全体でのイベントや行事を積極的に実施する考えでスタートをしました。イベント関連では、身近な社会資源の活用とともに楽しいと感じられる生活を送ることができたと思われま。また、個別アセスメントにて感染対策を講じながら取り組むこともできたと思われま。サービス担当者会議については思いや考えを確認する再アセスメントの場となり、ケアプラン・24時間シートへの落とし込みや見直しを行うことができました。3Fフロアでは職員欠員によりユニット運営・会議の開催が思うようにいかず、情報共有・展開におけるケアの均一化を図ることが困難な状況もありましたが、介護部にとって大きな動き出しの方向が見えたことで外部ボランティアの積極的な受け入れや生活活動に繋がるものとなりました。今後も個別ケアを追求し充実した生活となるよう多職種、ご家族と共にお客様の支援をしていきたいと思ひま。

2. 介護人材の定着および介護人材の育成に努めま。

介護人材の育成については、お客様の生活に直結するものであり、私たち介護職員の介護の知識や技術だけでなく総合的な人間性・人間力が必要になってきます。そのため今年度の人材育成

については、基礎学習の他に全職員に対して、アンガーマネジメントの取り組みを強化し職員の意識向上を目指しました。その他の研修に関しても年間計画通りに内部研修を開催し、外部研修の参加では自己研鑽の機会を設けることが出来ました。介護部の組織体制では、新体制での基盤づくりを行いながらも職員欠員が続いてしまう状態となり、またOJT育成システムでは、1人の職員が夜勤までの独り立ちができない状態もあり、統一した指導ができず次年度へ持ち越す形となりました。接遇面では、馴れ馴れしい言葉遣いが一部目立つ状況でもあり、引き続き人材育成・教育に関する接遇改善が必要と思われます。介護人材の育成について今後も目的意識をしっかりと精進していきたいと思えます。

3. 働きやすい環境の整備とシステム構築に努めます。

科学的介護の状況については入力データの可視化を推進することで現場実践でのケアとの連動をシステム的に行うことができつつあります。しかし、ユニット職員間や多職種との情報共有までは至っていないため、今後もPDCAサイクルを基にした展開を行っていききたいと思えます。また働きやすい環境を整えられるようソフト・ハード・システムを見直し、課題が見えるものもありました。特に備品類の整理と管理が徹底されていないため、どこに何があるのかが不透明となり探すところから始まることもある状態です。今後、設備点検と併せて必要な備品類を整理しデータにて管理を行っていきたいと考えます。また生産性向上の取り組みを開始している状況もあり、職員が感じる課題の明確化、原因究明、課題解決における計画を検討し、結果的に業務改善、生産性の向上に繋がり働きやすい環境を全職員で作っていききたいと思えます。

(2)看護部

1. 新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等感染症を持ち込まない・拡げない対策を継続し集団感染を防ぎます。

今年度も9月、2月と新型コロナウイルス感染症の集団感染が発症しましたが、感染拡大は動線ユニットに抑えることが出来ました。感染症は高齢者にとって命に関わることもあるので、施設内での感染対策は継続しつつ、全職員が施設内に感染源を持ち込まない対応も継続して行っていききたいと思えます。また、今年度は看護部の全職員が感染症に罹患することなく健康を維持することが出来たため、業務が滞りなく行えた1年でした。職員の健康状態の充足が全ての感染症を予防するポイントとなるため、職員の健康管理にも注視していききたいと思えます。

2. ご利用者の体調不良の早期発見と適正な処置対応を行うことで、施設での生活を維持できるよう努めます。

お客様の医療ニーズが高くなっており受診や入院に関する業務が多くなっていますが、職員数も充足しているため業務に支障なく対応が出来ました。引き続き、お客様の状態の変化に早期に気づき、早期に対応できるよう意識して連携します。

3. 看護職員のプライマリーナーシング方式を確立し、ご利用者の入居から退居までを担当看護職員が支援することで、ご利用者のニーズの充足や尊厳のある生活を支援します。

プライマリーナースとしての責任のある行動がみられていますが、思いの行き違いによるトラブルが見られました。「医療」と「介護」は対等であり、視点の違いや考え方を理解する姿勢を考えながら行動して参ります。

4. 看護の後方支援の役割を理解し、多職種との連携強化を図ります。

担当看護職員からの受診の必要性についての提案や、積極的な受診の付き添いに関わりなどが見られました。今後も、看護職員の質の向上と多職種との連携を深める意識を継続していきます。

5. 入居から看取り期までの褥瘡対策の支援強化を図ります。

褥瘡対策の強化については、お客様の状態変化を早期に確認し予防に努めた結果、褥瘡治療の通院や入院を0にすることが出来ました。褥瘡マネジメントに基づいた褥瘡ケア計画の実施とOH スケールを活用し、リスク別に対策（マットレスの選択、ポジショニング、適切な車イスの選定、処置、栄養内容など）を検討し、ティルト式車いす4台や体圧分散マットレス4枚を購入して頂きました。お客様の重度化に応じた必要な物品は都度購入して頂いていますので、今後も多職種との連携のもと褥瘡0に努めます。

(3)生活相談部・介護支援専門員

1. 入居稼働率の向上

年間の退所者数は35名で過去最多、入院数も延べ626名と前年度比2倍以上となり、年間の稼働率は95.5%と厳しい数字となりました。最近の傾向として入所の声掛けに対して即答いただけることが少なく、入所日が日付指定になることも多々あり、このことが空床期間に影響を与えているように思われます。今後も医療機関や居宅介護支援事業所と連携を強化し、早期面談による待機者の確保、早期入所案内による空床期間の圧縮、早期退院による入院日数の削減で稼働率向上を図って参ります。

2. 科学的介護の推進

部署間の連携を強化し科学的介護の推進を図ることで、合理的かつ質の高い介護の提供を目指しました。LIFEの活用のについては、エビデンスに基づいた評価・計画・実践が必要となるため、今後はより実践に反映できるよう各部署とも打合せ進めて、随時見直しを図って参ります。今年度から生産性向上推進体制加算も算定開始となったため、適切に加算算定できるよう業務を遂行して参ります。

3. 社会資源としての役割を展開

今年度も精力的な運営活動が見込めませんでしたが、読み聞かせのボランティアやマンドリンの披露、他にもお客様ご家族によるボランティア支援等について実施して好評なものもありました。ボランティアの受け入れについては、施設からも積極的に情報収集を行い、実際の受け入れ・活動につなげていきたいと考えます。地域活動の再開や、社会資源としての役割を担う活動について今後も展開を進めて参ります。

(4)栄養管理部

1. 栄養ケア・マネジメントの取組み

お客様の医療ニーズが高まり個別対応が必要になる方が多く見受けられるため、病院等との連携と施設内での多職種協議により、安全に食事の提供が出来るよう努めました。栄養連携加算は今年度取得に至りませんでしたが、今後も情報収集を継続していきます。看取り期には、お客様の嗜好に合わせた食事の提供を行い、最後までその方らしく生活が送れるよう支援をしました。

2. 安心・安全な食の楽しみへの取組み

実地研修により実際に感染症対応を行うことで、常時行っている衛生対策に加えて拭き上げの徹底や洗浄方法の見直しを行いました。今後、厨房での対応方法をマニュアル化していきたいとします。主食である白米の品薄や価格高騰、食材の供給不足等が深刻化していますが、使用食材、献立、提供方法の見直しを常時行いながら、季節感のある献立作成を心掛けました。食イベントは計画通りに進みませんでしたが、多職種の方に協力いただき西之島カフェを開店、移動屋台も定期的に開催する事が出来ました。どのイベントもお客様に大変喜んでいただくことが出来ました。

(5) 事務部

1. 事業所の受付相談窓口として常に「笑顔」を絶やさず、すべてのお客様に対して「優しい接客」を心掛けます。

お客様が窓口に来られた時は顔を上げて常に明るく「笑顔」での対応を心掛けました。表情や仕草から何かの訴えを感じた際は、席を立ち直接顔を合わせて対応することでお客様の安心感と満足感の向上に努めました。

2. 本年度介護保険制度改定を踏まえた、適正な請求業務と会計処理に努めます。

請求業務や会計処理については規程およびルールを遵守し、ダブルチェックを確実に実施することでミスを防ぎました。未収金については毎月の運営会議にて状況報告を行い、回収方法、時期等について担当者と確認を行いました。

3. 物価高騰の社会情勢にも注視し、健全で適正な収支管理に努めます。

物価高騰に影響を受ける光熱水費や消耗品等の収支管理は毎月月次で確認し、適正な予算管理に努めました。消耗品については、常に最低価格での購入ができるよう取引業者からの情報収集に努めました。

2 ショートステイ

1. 感染症への知識を深め、事業所の特性を鑑みた感染防止対策を徹底します。

今年度も昨年度までと同様に「一行動一消毒」を徹底して感染防止対策に努め、お客様への支援にあたりました。体調不良の職員が出た場合についても早急に勤務調整を図り、感染拡大の防止に努めましたが、令和7年2月にご利用者・職員から陽性者が複数人発症となり、短期入所事業所の稼働率にも影響が出ることとなりました。

2. 自分の家族や自分自身が利用したいと思える事業所となるようサービスの質向上に努めます。

ご家族によるリハビリの実施や食事介助といったニーズについて柔軟に対応をさせていただくことで、在宅生活の延長というショートステイの特性を活かした事業所運営を行いました。他のお客様においても、ご本人、ご家族の思いに寄り添った支援を心掛けるとともに、新人の職員については、社会人としての在り方・教育にも力を入れて更なるお客様の満足度の向上を目指しました。

3. 安定した稼働の確保と維持が行えるよう留意しながら、ご利用者のニーズに応じていきます。
在宅での生活が様々な状況により難しくなってしまったお客様、ご家族、ケアマネジャーのニーズに早急に応えられるよう、ロングご利用者の集客と受け入れを積極的に行い、安定した稼働の確保と維持に努めました。また、西之島の郷ショートステイから西之島の郷特養への入所といったスケールメリットを活かした事業所運営、居宅介護支援事業所への案内も行いました。

◇令和6年度ショートステイ職員目標◇

職員同士の信頼関係を更に深め、働きやすく、やり甲斐を十分に感じられる職場環境を
職員が一丸となって自分達で作りに上げていきます。

3 居宅介護支援事業

1. 本年度介護保険制度改定を踏まえた、適正な運営管理と業務体制の強化に努めます。
居宅ケアマネ3名による特定事業所加算（Ⅲ）の算定が続きました。今年度の報酬改定で支援費の微増はありましたが予防件数が介護件数の1/3換算に変更になり、昨年度上半期が4名体制だったことも併せて、売上高で前年度比1.4%減少となりました。インセンティブ導入により取扱件数が40件を超えた実績月もあったため、今後も更なる取扱件数の上乘せを見据えて参ります。
2. 法人内の居宅サービス事業所との連携を更に強化し、法人スケールメリットを活かします。
同法人内サービス利用者で気になることがあればすぐに相談を行い、また回答も迅速に貰えることで法人内事業所のスケールメリットを活用出来ています。そういった対応でご利用者に満足のいく支援を行えているケースも見受けられています。今年度平均集客率はデイサービス 37.3%（前年度 30.3%）、ショートステイ 64.1%（前年度 63.8%）でした。
3. 災害時および感染症拡大時の事業継続計画（BCP）を点検・修正し適時更新します。
災害時および感染症拡大時の事業継続計画（BCP）は完成しているため、行政と連携した協力体制を構築したうえでの避難行動の理解促進に努めました。今年度は磐田ケアマネ連絡会を通じて他事業所とのBCPの確認や広域での見直しを実施しました。訓練方法については今後も検討して事業継続計画の刷新に取り組んで参ります。

5 職員配置の状況

一 職員数

令和7年3月31日現在
単位（人）

			施設長	医師	生活相談員	介護支援専門員	介護職員					看護職員			管理栄養士	事務員	音楽療法士	洗濯・家事援助・その他	運転手	合計
							介護福祉士	実務者研修	ヘルパー・二級 初任者研修	その他・無資格	計	看護師	准看護師	計						
特別養護老人ホーム	常勤	男	1		1	1	9	4		3	16	1		1						20
		女					15	0		2	17	1	1	2	1				20	
		計	1		1	1	24	4		5	33	2	1	3	1				40	
	非常勤	男	実人数		1		1				1					1		1		4
			常勤換算		0.1			0.3				0.3					1		0.5	1.9
		女	実人数					5		1	4	10	3		3		1	1	5	20
			常勤換算					3.3		0.7	3	7	2.3		2.3		0.8	0.1	2.8	13
		計	実人数		1			6		1	4	11	3		3		2	1	6	24
			常勤換算		0.1			3.6		0.7	3	7.3	2.3		2.3		1.8	0.1	3.3	14.9
ショートステイ	常勤	男			1		2				2								3	
		女					3		1		4	1		1					5	
		計			1		5		1		6	1		1					8	
	非常勤	男	実人数					1				1								1
			常勤換算					0.3				0.3								0.3
		女	実人数					1		1	1	3								3
			常勤換算					0.5		1	0.5	2								2
			計	実人数					2		1	1	4							
常勤換算					0.8		1.0	0.5	2.3									2.3		
居宅	常勤	男				2													2	
		女				1													1	
		計				3														3
全体		実人数	1	1	2	4	37	4	3	10	54	6	1	7	1	2	1	6		79
		常勤換算	1.0	0.1	2.0	4.0	33.4	4.0	2.7	8.5	48.6	5.3	1.0	6.3	1.0	1.8	0.1	3.3		68.2

※兼務の職員は主たる職種に記載。休暇・休業中の職員及び派遣職員を除く。

二 職員の平均年齢・勤続年数・入退職の状況

令和7年3月31日現在

			平均年齢（歳）			平均勤続年数（年）			入職者（人）			入職率	退職者（人）			退職率
			介護職員	看護職員	職その他	介護職員	看護職員	その他	介護職員	看護職員	その他		介護職員	看護職員	その他	
特養ホーム	常勤	男	42.5	51.0	53.3	9.4	10.0	22.5	3			15.0%	1			5.0%
		女	34.7	55.0	41.0	7.9	4.0	11.0	3			15.0%	2			10.0%
		計	39.0	53.7	50.3	8.7	6.0	19.6	6			15.0%	3			7.5%
	非常勤	男	41.0		52.5	1.4		11.2	1			25.0%	1			25.0%
		女	44.7	59.3	64.5	9.0	6.4	6.7			1	5.0%	3		1	20.0%
		計	44.4	59.3	61.5	8.3	6.4	7.8	1		1	8.3%	4		1	20.8%
ショート	常勤	男	29.5		49.0	8.2		16.0	1			33.3%				
		女	29.8	64.0		8.0	8.2									
		計	29.7	64.0	49.0	8.1	8.2		1			12.5%				
	非常勤	男	45.0			1.0			1			100.0%				
		女	46.7			7.6										
		計	46.3			5.9			1			25.0%				
居宅	常勤	男			47.5			14.5								
		女			60.0			7.5								
		計			51.7			12.2								

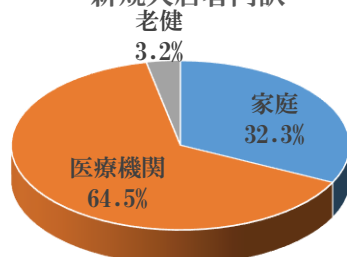
6 サービス提供の状況（入所サービス）

一 特別養護老人ホーム入退居の状況

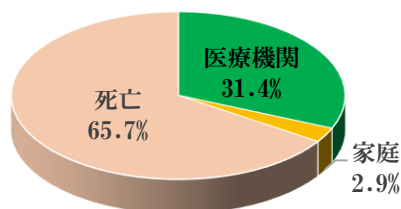
単位（人）

区分		新規入居者数						退居者数						月末 在籍者 数	
		医療 機関	社会 福祉 施設	家 庭	老人 保健 施設	そ 他	計	医療 機関	社会 福祉 施設	家 庭	老人 保健 施設	死 亡	そ 他		計
R4年 4月	男女 計	1					1					1		1	15
		1		1			2	1				1		2	64
		2		1			3	1				2		3	79
5月	男女 計	2					2					1		1	15
		2					2					1		1	65
												1		1	80
6月	男女 計							1						1	15
								1						1	64
														1	79
7月	男女 計	2			1		3			1		1		2	15
		2			1		3			1		1		2	65
														2	80
8月	男女 計							1						1	15
								1						1	64
														1	79
9月	男女 計			2			2	1				1		1	14
				2			2	1				5		6	60
												6		7	74
10月	男女 計	1				2	3					1		1	16
		3		1			4								64
		4		1		2	7					1		1	80
11月	男女 計			1			1								17
				1			1	1				2		3	61
												2		3	78
12月	男女 計	1					1	1						1	17
		1		1			2	1				1		2	61
		2		1			3	2				1		3	78
R5年 1月	男女 計	1					1					1		1	17
		3		1		1	5	1				4		5	61
		4		1		1	6	1				5		6	78
2月	男女 計	2					2								19
						1	1					2		2	60
		2				1	3					2		2	79
3月	男女 計	1		1			2	1			1			2	19
		1		2			3	2				2		4	59
		2		3			5	3			1	2		6	78
合計	男女 計	7		2		2	11	2			1	4		7	
		13		8	1	2	24	9		1		19		29	
		20		10	1	4	35	11		1	1	23		36	

新規入居者内訳



退所者内訳

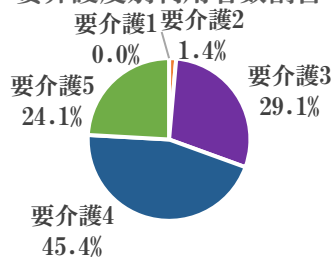


二 特別養護老人ホーム要介護度別サービス提供日数

単位（人）

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度	入居率
4月	男	0	30	71	270	60	431	3.91	97.2%
	女	0	30	598	763	510	1,901		
	計	0	60	669	1,033	570	2,332		
5月	男	0	31	62	269	62	424	3.90	98.3%
	女	0	0	682	829	504	2,015		
	計	0	31	744	1,098	566	2,439		
6月	男	0	30	60	254	60	404	3.90	98.3%
	女	0	0	659	810	485	1,954		
	計	0	30	719	1,064	545	2,358		
7月	男	0	31	62	279	62	434	3.93	96.9%
	女	0	0	647	781	541	1,969		
	計	0	31	709	1,060	603	2,403		
8月	男	0	31	62	279	62	434	3.92	97.6%
	女	0	0	679	750	558	1,987		
	計	0	31	741	1,029	620	2,421		
9月	男	0	30	60	250	60	400	3.95	92.3%
	女	0	0	563	742	510	1,815		
	計	0	30	623	992	570	2,215		
10月	男	0	31	132	247	62	472	3.92	94.6%
	女	0	0	541	837	496	1,874		
	計	0	31	673	1,084	558	2,346		
11月	男	0	30	150	243	60	483	3.91	96.5%
	女	0	0	525	829	478	1,832		
	計	0	30	675	1,072	538	2,315		
12月	男	0	31	154	268	93	546	3.95	95.9%
	女	0	0	487	856	490	1,833		
	計	0	31	641	1,124	583	2,379		
1月	男	0	31	155	247	93	526	3.92	92.7%
	女	0	0	492	846	434	1,772		
	計	0	31	647	1,093	527	2,298		
2月	男	0	28	145	224	84	481	3.93	90.7%
	女	0	0	441	779	404	1,624		
	計	0	28	586	1,003	488	2,105		
3月	男	0	31	212	249	93	585	3.91	94.8%
	女	0	0	505	780	480	1,765		
	計	0	31	717	1,029	573	2,350		
合計	男	0	365	1,325	3,079	851	5,620	3.92	95.5%
	女	0	30	6,819	9,602	5,890	22,341		
	計	0	395	8,144	12,681	6,741	27,961		

要介護度別利用者数割合



特養入居者の入院者数（延人数）



三 特別養護老人ホーム入居者の入院者数

単位（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	2	2	4	3	3	4	5	4	7	7	5	5	51
延人数	24	26	36	49	55	74	60	37	65	97	71	71	665

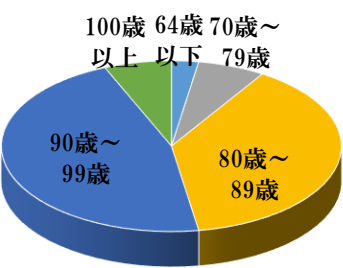
※入・退院日を除く

四 特別養護老人ホーム 年齢、性及び入所期間別入居者数

令和7年3月31日現在
単位（人）

区分		入居期間								合計
		6ヶ月未満	6月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上9年未満	9年以上11年未満	11年以上	
64歳以下	男			1	1					2
	女									
	計			1	1					2
65歳～69歳	男									
	女									
	計									0
70歳～79歳	男					1				1
	女	1		2			1			4
	計	1		2		1	1			5
80歳～89歳	男	4		2	1					7
	女	6	3	6	1	6		1		23
	計	10	3	8	2	6		1		30
90歳～99歳	男	3		2	1					6
	女	5	5	9	2	4	3	1	1	30
	計	8	5	11	3	4	3	1	1	36
100歳以上	男									
	女				3	1		1		5
	計				3	1		1		5
合計	男	7		5	3	1				16
	女	12	8	17	6	11	4	3	1	62
	計	19	8	22	9	12	4	3	1	78

平均年齢	男性	84歳3か月	全体	89歳5か月
	女性	91歳0か月		
平均入所期間	男性	1年8か月	全体	2年11か月
	女性	3年3か月		

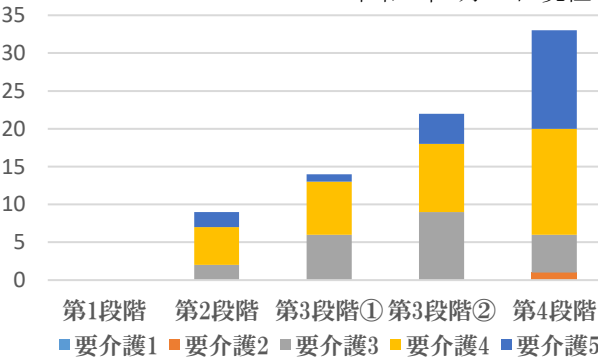


入所者年齢構成

五 特別養護老人ホーム入居者の介護保険利用者負担段階

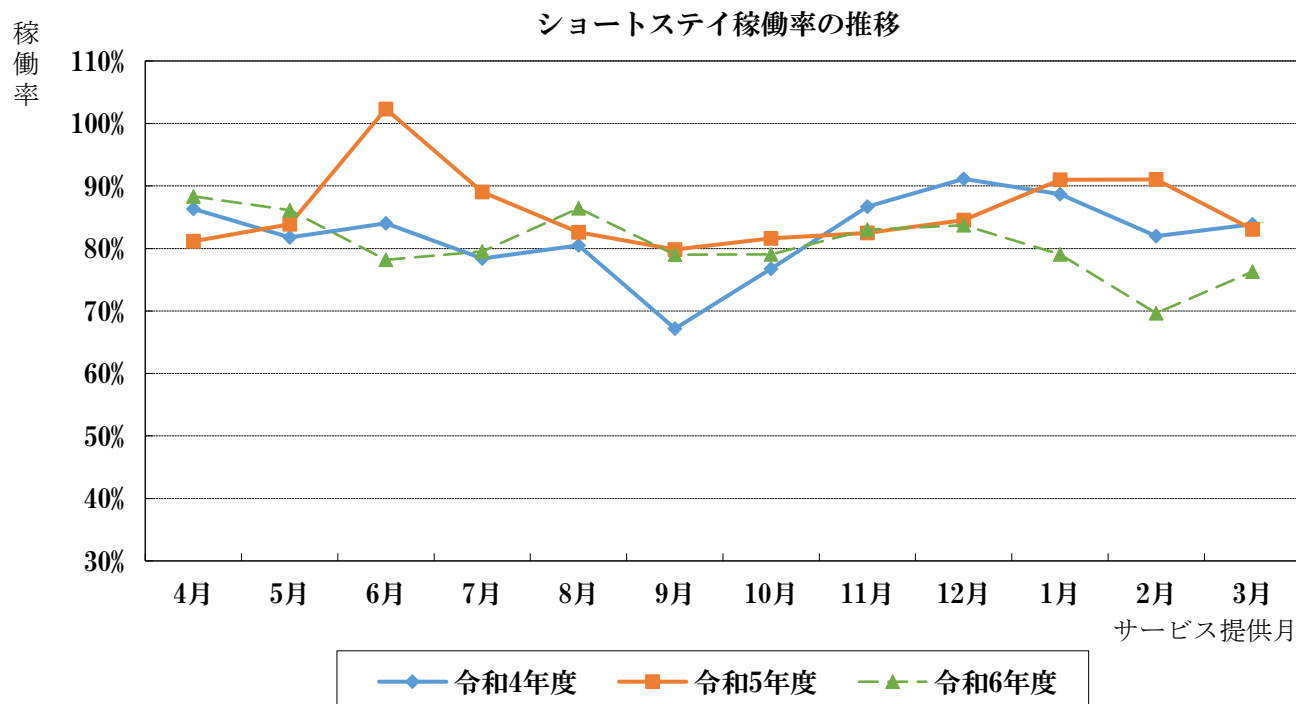
令和7年3月31日現在

単位（人）						
	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階	計
要介護1						0
要介護2					1	1
要介護3		2	6	9	5	22
要介護4		5	7	9	14	35
要介護5		2	1	4	13	20
計	0	9	14	22	33	78



ショートステイ 要介護度別延利用者数

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数（日）			30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
定員数（人）			20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
利用者数	要支援1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	3	0	3	3	3	3	3	6	5	3	5	3	40
		計	3	0	3	3	3	3	3	6	5	3	5	3	40
	要介護1	男	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	3	17	32
		女	44	46	28	29	18	17	25	31	27	41	27	22	355
		計	44	46	28	35	24	17	25	31	27	41	30	39	387
	要介護2	男	20	23	27	30	21	21	21	21	21	25	32	62	324
		女	46	36	47	47	64	52	63	62	59	76	62	61	675
		計	66	59	74	77	85	73	84	83	80	101	94	123	999
	要介護3	男	33	41	15	12	56	40	17	18	13	28	49	50	372
		女	156	160	146	127	124	150	133	132	177	128	57	67	1,557
		計	189	201	161	139	180	190	150	150	190	156	106	117	1,929
	要介護4	男	20	23	16	13	17	15	16	26	0	0	0	2	148
		女	208	205	187	224	225	176	179	172	174	123	95	120	2,088
		計	228	228	203	237	242	191	195	198	174	123	95	122	2,236
	要介護5	男	0	0	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	6
		女	0	0	0	0	0	0	31	30	43	66	60	69	299
		計	0	0	0	2	2	0	33	30	43	66	60	69	305
	合計	男	73	87	58	63	102	76	56	65	34	53	84	131	882
		女	457	447	411	430	434	398	434	433	485	437	306	342	5,014
		計	530	534	469	493	536	474	490	498	519	490	390	473	5,896
平均利用者数（人）			17.7	17.2	15.6	15.9	17.3	15.8	15.8	16.6	16.7	15.8	13.9	15.3	16.2
稼働率（%）			88.3	86.1	78.2	79.5	86.5	79.0	79.0	83.0	83.7	79.0	69.6	76.3	80.8
前年比（%）			108.8	102.7	76.4	89.3	104.7	99.0	96.8	100.6	99.0	86.9	73.9	91.8	93.6



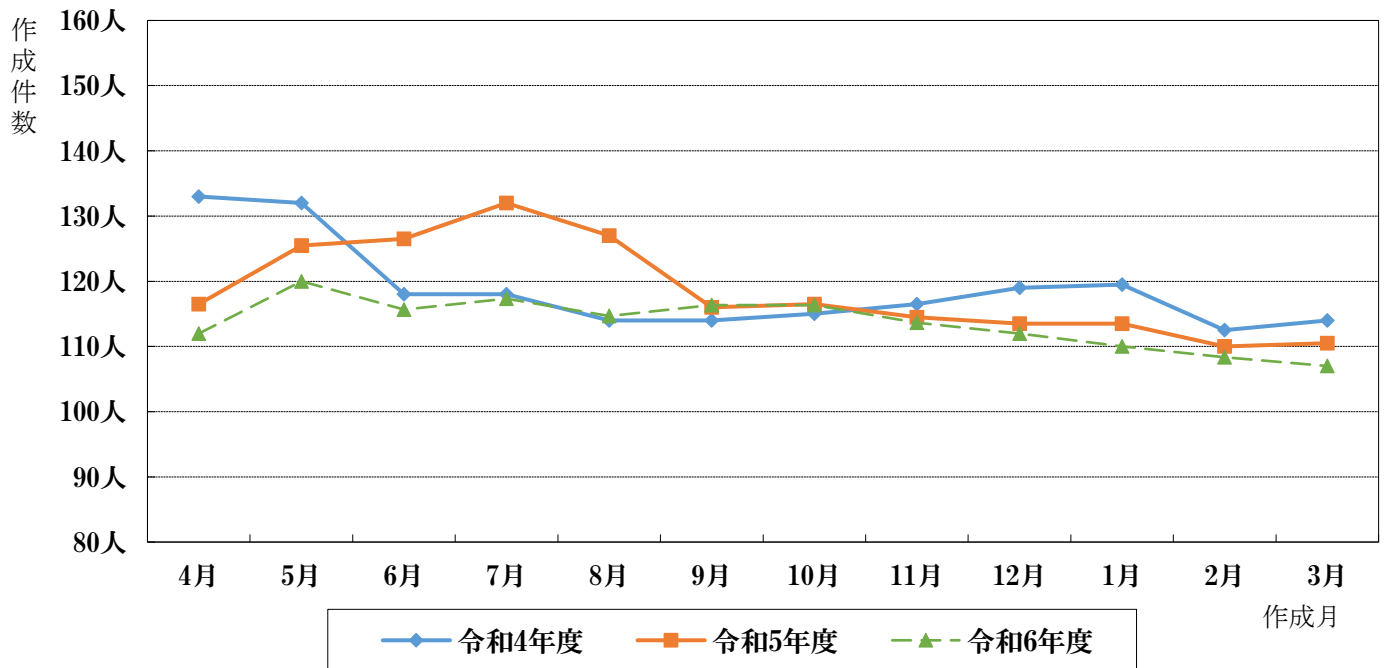
居宅介護支援事業所 ケアプラン作成件数

単位（円）

	配置人員	区分	要介護	要支援	計
令和6年4月	3	件数	102	30	112.0
		給付費	1,627,649	127,230	1,754,879
5月	3	件数	111	27	120.0
		給付費	1,765,096	114,507	1,879,603
6月	3	件数	107	26	115.7
		給付費	1,668,122	110,266	1,778,388
7月	3	件数	109	25	117.3
		給付費	1,713,995	106,025	1,820,020
8月	3	件数	106	26	114.7
		給付費	1,658,844	113,692	1,772,536
9月	3	件数	108	25	116.3
		給付費	1,709,565	106,025	1,815,590
10月	3	件数	108	25	116.3
		給付費	1,697,312	112,151	1,809,463
11月	3	件数	105	26	113.7
		給付費	1,645,480	116,392	1,761,872
12月	3	件数	103	27	112.0
		給付費	1,628,195	120,633	1,748,828
令和7年1月	3	件数	101	27	110.0
		給付費	1,594,322	118,748	1,713,070
2月	3	件数	99	28	108.3
		給付費	1,571,677	124,874	1,696,551
3月	3	件数	97	30	107.0
		給付費	1,549,289	139,482	1,688,771
合計		件数	1,256	322	1,363.3
		給付費	19,829,546	1,410,025	21,239,571

※計の要支援（介護予防）件数は、令和5年度まで1/2件、令和6年度から1/3件として計算

ケアプラン作成件数の推移



9 施設の運営状況（全サービス）

一 事故の発生状況

	転倒・転落	誤嚥	異食	誤薬	車輦事故	その他	合計
特養ホーム	5					1	6
ショートステイ	6						6

※保険者への報告を行った介護事故（車輦事故は警察への届出）の発生件数を記載しています。

二 感染症の集団発生

種別	場所	期間	感染者数
新型コロナウイルス感染症	2Fときわ・つぼみ街	R6. 8. 27～9. 17	職員4・お客様7
新型コロナウイルス感染症	2Fみのり・ひかり街	R7. 2. 2～2. 17	職員7・お客様12

三 寄せられたご意見・苦情

受付日	区分	申出人	内容	対応
R6. 4. 25	居宅	匿名様	自分の携帯電話に、関係のない『西之島の郷』という所から何度も電話がかかってきます。どうにかならないかと問い合わせがありました。	電話のお相手には謝罪しました。居宅会議で確認したところ、間違った番号で何度も電話をかけてしまっていたことがわかりました。パソコンの住所録から転記する場合は、拡大機能等を使いながら再確認をするようにしました。
R6. 6. 13	特養	ご家族	介護記録で未記入の事柄がみられることや、今までの対応から職員に対して不信感が募ってしまっています。元の西之島の郷ショートに戻してほしいです。無理であれば、他のユニットに移りたいとのご希望がご家族よりありました。	ご家族の要望・思いを数回にわたりお聞きしました。不安・負担をお掛けしたことを謝罪いたしました。ご家族はショートに戻することを希望されていたため、後日、ショートに移動していただきました。
R6. 7. 21	特養	お客様	食事について、7/20・21の朝食のみ、お粥が水っぽくなりすぎてとても食べる気がしないうです。もう少し硬めにしてほしいですと、お客様よりご意見がありました。	お米、もしくは加水量の計量ミスではないかと考えられます。今後は、軽量時の二重チェックと、米の吸水量も加味して調整を行う旨をお伝えし、謝罪しました。
R6. 8. 11	ショート	ご家族	面会に来た際に、お客様の座られている席の足元がお茶をこぼしてまったようでズボンや靴、床が濡れていました。靴や床が濡れている状態のままで歩こうとしていたので、転倒の危険もあり、また他の方が転んでしまう可能性もあるため、気を付けてほしいですと、ご家族よりご要望がありました。	ご家族には対応が不十分であったことを謝罪しました。対応したCWには床が濡れていることに対してのリスク等を伝え、今後はお客様の安全を第一に考え対応します。
R6. 8. 27	特養	訪問マッサージ師	「お客様のお部屋で訪問マッサージを行っていたところ、ノック無しで50歳くらいの男性の職員が部屋に入ってきて何かを探しました。閉まっている扉をノック無しで開けられて、とても驚きました。」と訪問マッサージ師様よりご意見がありました。	施術中にも関わらず、不快な思いをさせてしまったことを謝罪いたしました。接遇はとても大切なことなので、今後はこのようなことが無いよう、ユニット全体で情報共有をいたしました。
R7. 10. 6	特養	お客様	紅葉の季節になったので、安全のため職員の付き添いにて一緒に外出をしたいですと、お客様よりご要望がありました。	担当職員付き添い、小國神社に行きました。たいへん喜ばれていました。
R7. 10. 9	特養	お客様	もみあげが長いので、電気カミソリでしっかりと剃ってほしいですと、お客様よりご要望がありました。	毎日、しっかりと介助させていただくことをお伝えしました。
R7. 11. 11	ショート	ご家族	書類（ご利用中の様子）の見方がよくわからないので教えてほしいですと、ご家族よりご相談をいただきました。	ご説明が足りなかったことを謝罪し、データの抽出方法、伝達方法を再検討し、ご家族も安心してご利用して頂けるよう、可能な限り改善に努めます。

四 介護相談員の主な相談内容

相談日	区分	内容	対応
R6. 4. 4	特養 ショート	2階のお客様から、「足が痛いので、NCを押すと、さっき呼んだばかりといわれる。看護師に足をさすってもらった時にとっても気持ちがよかったので、介護の人にも体位交換時などさすってもらいたいです。また、パーキンソン病が進行しているのは理解していて、薬が飲めていないです。今後体が動かなくなるのは怖いので、服薬とか検討してもらえるのだろうか。」と相談がありました。	お客様のご意見を看護師及び、介護職員に伝え周知しました。お客様のご気持ちに寄り添えるよう心掛けたいと思います。
R6. 5. 21	特養 ショート	特にありません。長寿の秘訣を話してくださる方がいました。	貴重なお話をありがとうございます。私たち職員もお客様が話しやすい環境づくりを目指して参ります。
R6. 6. 13	特養 ショート	お話できる方が皆さんお部屋にいらっしゃった為、時間も早々に終わってしまいました。特にお伝えしなければいけないこともありません。来月も宜しく願います。	お客様の重度化が進み、以前よりもお話ができる方が、少なくなったように感じられます。今後も一つ一つの言葉がけを大切に関わらせていただきます。
R6. 7. 18	特養	3階の女性の介護職員についてご報告がありました。私が入浴の時間とは知らず、お客様とずっとお話をしていたのですが、話が終わるまで近くで見守って待っていてくれました。配慮がすばらしく感動しました。また笑顔で対応していただき、とても気持ちがよかったです。	有難いお言葉をいただき、ありがとうございます。今後も常に笑顔で接する介護を心掛けたいと思っています。
R6. 10. 18	特養 ショート	「一緒に入所している夫が補聴器をつけていません。私の言うことは聞きません。補聴器をつけて会話ができるようになりたいです。やる事がなくて手持ち無沙汰です。何かやる事があればいいなと思います。」と2人のお客様からお話がありました。	貴重なご意見を頂戴しました。ご主人様にも早速ご相談をさせていただきたいと思います。 お客様とご家族様に相談し、毎日を楽しく過ごせる方法を考えていきたいと思います。
R6. 11. 7	特養 ショート	「職員さんが一生懸命やってくれるので幸せです。」と皆様、口を揃えておっしゃってましたと報告がありました。私たちにも明るく挨拶をしてくれました。	職員にとって、大変励みになるお言葉です。これからもお客様に対し満足度を高めていきたいと思います。
R6. 12. 5	特養 ショート	特にありません。	承知いたしました。 ありがとうございます。
R7. 2. 26	特養 ショート	特にありません。	承知いたしました。 ありがとうございます。
R7. 3. 12	特養	つばみ街お客様より、前の所は紙芝居とかやってくれたけど、ここは何もなくて退屈です。人数が多いから仕方がないのかなと言っていました。	介護職員と相談内容を共有し、少しでも有意義なお時間を過ごしていただけるよう心掛けたいと思います。

五 ご寄附

日付	寄附者氏名	寄附内容	目的	区分
R6. 4. 10	厚生労働省	N95 マスク 1, 120枚	お客様の為	特養
R6. 5. 17	松下博様 ご家族	寄付金 20万円	お客様の為	特養
R6. 8. 5	木戸桂子様 ご家族	お米 30kg	お客様の為	特養
R6. 8. 21	(株)エイビイエス	ウイルス除去スプレー 144本	お客様の為	特養
R6. 9. 4	JA遠州中央農業協同組合	お米 5kg×2袋	お客様の為	特養
R6. 9. 4	藤本雅江様 ご家族	お米 30kg×1袋	お客様の為	特養
R7. 3. 13	厚生労働省	アイソレーションガウン 100枚×10箱	お客様の為	特養
R7. 3. 13	厚生労働省	プラスチックガウン 200枚×5箱	お客様の為	特養

六 行事の実施状況（施設入所）

名称	開催日	参加者	備考
お花見ドライブ	R6. 4. 6	3F各ユニット1名	磐田市内ドライブ
春の西之島移動喫茶店	R6. 4. 8	全お客様	移動喫茶サービス
春のドライブ	R6. 4. 12	ときわ街5名	お花見ドライブ
春のお茶会	R6. 4. 12	ときわ街10名	ケーキ作り
買い物ツアー	R6. 5. 9	ときわ街2名	磐田市内買い物ツアー
季節のドライブ	R6. 5. 23	つばみ街3名	福田港付近ドライブ
落語会	R6. 6. 3	お客様30名	三笑亭可風様 来所
季節のドライブ	R6. 6. 6	みのり街2名	磐田市内ドライブ
仲夏のひだまり珈琲店	R6. 6. 20	全お客様	喫茶サービス
四季を感じる季節湯	R6. 6. 21～27	ショート全お客様	季節の入浴剤、富士山ポスター掲示
4・5・6月誕生日会	R6. 6. 27	ひかり街10名	ケーキ作り・写真撮影
季節のドライブ	R6. 6. 27	ひかり街10名	磐田市内ドライブ
実習生と外出	R6. 7. 9	かおり街1名, 実習生1名	お花の苗と一緒に購入！
焼きそば作り	R6. 7. 12	つばさ街9名	焼きそば作り
実習生と外出	R6. 7. 12	かおり街1名, 実習生1名	アイスを食べに行こう！
7月誕生日会	R6. 7. 19	みのり街10名	ケーキ作り・写真撮影
季節のドライブ	R6. 7. 29	つばさ街2名	テイクアウト（ドライブ）
アイスを食べよう	R6. 8. 30	つばさ街全お客様	ゲーム参加、景品アイス
四季を感じる季節湯	R6. 9. 22～28	ショート全お客様	季節の入浴剤、紅葉風景写真掲示
季節のドライブ	R6. 9. 23	つばさ街4名	磐田市内ドライブ
西之島・蛭池 祭典	R6. 10. 13	全お客様	施設内にて屋台の引き回し
ユニットパーティー	R6. 11. 5	みどり街・かおり街 全お客様	お好み焼き・たこ焼き作り
ひだまり珈琲店	R6. 11. 21	全お客様	新米&初冬デザート
おやつ作り	R6. 11. 26	かおり街・みどり街 全お客様	フルーチェ作り
季節のドライブ	R6. 12. 3	みどり街2名	磐田市内ドライブ
お鍋の会	R6. 12. 9	みどり街全お客様	ユニットにてお鍋の会
年末ジャンボ！	R6. 12. 16	つばさ街全お客様・他客様	くじ引き&景品
クリスマスパレード	R6. 12. 25	全お客様	サンタよりお菓子の配布
季節を感じる季節湯	R6. 12. 25～27	ショート全お客様	季節の入浴剤、季節写真掲示
特養新年会	R7. 1. 19	特養全お客様	南京玉すだれ・書初め・合唱等
ショートステイ新年会	R7. 1. 23	ショート全お客様	職員の特技披露・書初め・合唱等
お汁粉作り	E7. 2. 19	3Fユニットより7名	お団子作り&調理
お花見ドライブ	R7. 3. 12	ショート2名	磐田市内ドライブ

七 クラブ活動・日常生活支援・アクティビティの実施状況

今年度のクラブ活動等の実施はありませんでした。

10 職員教育

一 内部研修の開催状況

名称（新人研修）	開催日	備考
令和6年度新任職員研修	R6. 4. 1～2	介護職員4名
令和6年度新任職員導入研修	R6. 4. 3～7	介護職員4名
感染症・食中毒防止研修	R6. 5. 9	介護職員4名
身体拘束廃止研修・虐待防止研修	R6. 6. 12	介護職員4名
介護事故防止研修	R6. 7. 11	介護職員4名
褥瘡の発生防止研修	R6. 8. 9	介護職員4名
看取り介護研修	R6. 9. 12	介護職員3名
アンガーマネジメント研修	R6. 10. 10	介護職員3名
個人情報保護研修	R6. 11. 14	介護職員4名
防災対策研修	R6. 12. 12	介護職員3名
要望・苦情受付研修	R7. 1. 9	介護職員3名
腰痛予防と労働安全衛生	R7. 2. 13	介護職員2名
本年度の振り返りと今後の抱負	R7. 3. 13	介護職員3名

名称(ユニットリーダースキルアップ研修)	開催日	備考
事業計画、目標管理、BCP研修	R6. 4. 18	施設長, FL3名, UL8名
リスクマネジメント研修	R6. 5. 16	FL2名, UL5名
看取り介護研修	R6. 7. 18	FL1名, UL5名
施設運営に関する研修	R6. 7. 18	FL2名, UL5名
メンタルヘルス研修	R6. 8. 22	FL2名, UL4名
アンガーマネジメント・看取り介護研修	R6. 9. 19	FL1名, UL2名, CW10名
虐待防止研修	R6. 10. 17	FL2名, UL8名, 他部署2名
感染症対策研修	R6. 11. 21	FL2名, UL6名, 他部署3名
BCP研修	R6. 12. 19	施設長, FL2名, UL9名, 他部署2名
身体拘束廃止研修	R7. 2. 20	FL2名, UL7名

名称(職務別研修)	開催日	備考
非常勤職員研修 事業計画、目標管理、BCP研修	R6. 5. 23	CW11名, 他部署3名
3年次研修	R6. 6. 6	CW2名
2年次研修	R6. 12. 5	CW2名
アンガーマネジメント研修	R6. 12. 26	CW12名, 他部署2名

名称(テーマ別研修)	開催日	備考
施設サービス向上研修 事業計画、目標管理、BCP研修	R6. 4. 11	FL2名, CW9名
施設サービス向上研修 事業計画、目標管理、BCP研修	R6. 4. 18	FL3名, CW6名
施設サービス向上研修 事業計画、目標管理、BCP研修	R6. 4. 25	FL3名, CW8名
施設サービス向上研修 リスクマネジメント研修	R6. 5. 23	CW6名
施設サービス向上研修 看取り介護研修	R6. 6. 28	CW5名
施設サービス向上研修 アンガーマネジメント研修	R6. 7. 19	FL1名, CW5名
施設サービス向上研修 メンタルヘルスケア研修	R6. 9. 26	CW7名, 他部署1名
施設サービス向上研修 感染症対策研修	R6. 11. 21	CW9名
施設サービス向上研修 BCP研修	R6. 12. 26	FL3名, UL1名, CW13名
施設サービス向上研修 BCP研修	R7. 1. 23	FL3名, CW8名
やまなか歯科院長：口腔衛生ケア①	R7. 1. 24	FL3名, UL1名, CW10名, 他部署5名
やまなか歯科院長：口腔衛生ケア②	R7. 2. 28	FL3名, UL4名, CW14名, 他部署5名

二 外部研修の参加状況

名称	開催日	出席者	主催者
福祉系大学生が応募したくなるプレゼンテーション	R6. 6. 6	1名	静岡県老人福祉施設協議会
福祉施設の採用力向上研修	R6. 6. 6	1名	静岡県社会福祉協議会
インターンシップ 導入セミナー	R6. 6. 11	1名	静岡県社会福祉協議会
接遇マナー研修会	R6. 7. 5	3名	静岡県老人福祉施設協議会
主任・管理職のためのメンタルヘルス講座	R6. 7. 12	1名	静岡県社会福祉協議会
静岡県老施協西部支部管理者研修会	R6. 7. 30	1名	県老施協西部支部
いわたナース交流会	R6. 8. 3	1名	県看護協会
新人職員フォローアップ研修会 基礎編	R6. 8. 5	4名	静岡県老人福祉施設協議会
職場の問題解決に貢献できる職員になれるか	R6. 8. 7	2名	静岡県老人福祉施設協議会
静岡県高齢者福祉研究大会	R6. 9. 5	6名	静岡県老人福祉協議会
福祉分野の事業を行う仲間・チームとしての研修	R6. 9. 24	2名	磐田社会福祉協議会
生産性向上の取り組み	R6. 9. 24	2名	中東遠地区特養施設長連絡会
施設経営法人・社会福祉協議会合同研究会	R6. 9. 30	1名	県社会福祉法人経営者協議会
女性リーダー向けマネジメントスキル向上セミナー	R6. 10. 8	4名	県経済産業部労働雇用政策課
外国人介護職員受入準備セミナー	R6. 10. 30	1名	静岡県社会福祉協議会
介護力向上研修～研究発表Again!	R6. 11. 14	3名	静岡県老人福祉協議会
認知症ケアに関わる職員のための勉強会	R6. 11. 20	1名	磐田市立総合病院
アンガーマネジメント応用編(実践編)	R6. 12. 7	1名	アンガーマネジメント協会
人が辞めずに育つ職場を作る「職場内研修」	R6. 12. 9	1名	静岡県社協人材センター
新人職員フォローアップ研修会 応用編	R6. 12. 18	4名	静岡県老人福祉協議会
種別を超えたネットワーク構築	R7. 1. 29	5名	磐田市社会福祉法人連絡会
ICT機器活用方法を知り生産性の向上につなげる	R7. 2. 17	1名	県老施協西部支部
静岡県老施協DX人材研修セミナー	R7. 2. 19	1名	静岡県老人福祉施設協議会
静岡県老施協西部支部管理者研修会	R7. 3. 5	1名	県老施協西部支部

11 地域交流

一 介護実習の受入状況

団体名等	人数	受入期間
磐田北高等学校福祉科3年生	3名	R6. 6/17～7/17
磐田北高等学校福祉科2年生	2名	R6. 9/9～9/27
磐田市立南部中学校3年生	3名	R6. 9. 25
静岡産業大学3年生・4年生	4名	R7. 2. 14

二 介護体験、職場体験、幼・保育園交流等の受入状況

今年度の受入れはありませんでした。

三 ボランティアの受入状況

洗濯ボランティア1名 R6年4月～R6年7月 13：00～16：00 合計15回（45時間）

四 関係機関との連携、研究発表、イベント等

名称	開催日	出席者	主催者	場所
令和6年度 第1回研修委員会	R6. 4. 26	1名	静岡県老人福祉施設協議会	静岡県総合社会福祉会館
中東遠地区特養職種別研究会（給食）	R6. 5. 20	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	特養第二白寿園
令和6年度 5月定例総会	R6. 5. 27	1名	静岡県老人福祉施設協議会	静岡県総合社会福祉会館
令和6年度 第2回研修委員会	R6. 6. 13	1名	静岡県老人福祉施設協議会	静岡県総合社会福祉会館
病院・介護施設等連絡会	R6. 6. 27	1名	磐田市立総合病院	磐田市立総合病院
中東遠地区特養職種別研究会（短期）	R6. 6. 27	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	特養福寿荘
第9回磐田市社会福祉法人連絡会	R6. 7. 4	1名	磐田市社会福祉協議会	磐田市総合健康福祉会館
令和6年度夏・SHIZUOKA福祉の就職相談会	R6. 7. 20	1名	静岡県社会福祉協議会	サーラシティ浜松
中東遠地区特養職種別研究会（医務）	R6. 7. 24	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	特養梅香の里
静岡県老協西部支部総会	R6. 7. 30	1名	静岡県老協西部支部	サーラシティ浜松
令和6年度 第3回研修委員会	R6. 8. 19	1名	静岡県老人福祉施設協議会	静岡県総合社会福祉会館
第13回静岡県高齢者福祉研究大会	R6. 8. 19	1名	静岡県老人福祉施設協議会	静岡県総合社会福祉会館
福祉職場説明会	R6. 8. 22	1名	浜松市社会福祉協議会	福祉交流センター
福祉人材確保・定着実践研究会	R6. 8. 23	1名	静岡県社会福祉協議会	静岡県立大学短期大学部
中東遠地区特養職種別研究会（事務）	R6. 8. 27	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	特養中泉の里
静岡県第13回高齢者福祉研究大会	R6. 9. 5	6名	静岡県老人福祉施設協議会	グランシップ静岡
磐田市社会福祉法人連絡会	R6. 9. 24	1名	磐田市社会福祉協議会	iプラザ
中東遠地区特養職種別研究会（介護）	R6. 9. 24	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	特養かけがわ苑
福祉職場説明会	R6. 9. 26	1名	浜松市社会福祉協議会	福祉交流センター
ICT化等事業費補助金セミナー説明会	R6. 9. 27	1名	静岡県	オンライン（ZOOM）
西貝地区福祉後援会	R6. 10. 6	1名	中部地域包括支援センター	西貝交流センター
令和6年度 第4回研修委員会	R6. 10. 11	1名	静岡県老人福祉施設協議会	静岡県総合社会福祉会館
福祉職場説明会	R6. 10. 18	1名	浜松市社会福祉協議会	福祉交流センター
介護の日啓発活動街頭キャンペーン	R6. 11. 11	1名	静岡県老協西部支部	JR浜松駅構内
実地研修エッセイコンテスト（3日間）	R6. 11. 12-15	1名	日本エッセイ推進センター	特別養護老人ホーム灯光園
施設間職員交換研修	R6. 11. 25-26	1名	静岡県老人福祉施設協議会	特養浜松一空園
令和6年度県老協西部支部防災訓練	R6. 11. 6	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	特養袋井ゆうあいの里
福祉職場説明会	R6. 11. 29	1名	浜松市社会福祉協議会	福祉交流センター
福祉職場説明会	R6. 12. 5	1名	浜松市社会福祉協議会	福祉交流センター
中東遠地区特養職種別研究会（施設CM）	R6. 12. 13	1名	中東遠地区施設長連絡会	特養明和苑
福祉の施設見学会&個別相談会	R6. 12. 16	1名	静岡県社会福祉人材センター	ハローワーク磐田
福祉教育関係打合せ	R7. 1. 20	1名	磐田市社会福祉協議会	iプラザ
中東遠地区特養職種別研究会（SW）	R7. 1. 24	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	特養喜久の園
福祉職場説明会	R7. 1. 29	1名	浜松市社会福祉協議会	福祉交流センター
磐田北高等学校との意見交換会	R7. 2. 6	1名	磐田市社会福祉協議会	磐田北高等学校
磐田西高等学校と市内企業等との交流授業	R7. 2. 6	1名	磐田市経済観光課	磐田西高等学校
福祉職場説明会	R7. 2. 6	1名	浜松市社会福祉協議会	福祉交流センター

名称	開催日	出席者	主催者	場所
中東遠地区特養職種別研究会（中間管理職）	R7. 2. 6	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	特養灯光園
学校出前講座シニア編（高齢者疑似体験）	R7. 2. 19	1名	磐田市社会福祉協議会	iプラザ
令和6年度冬・SHIZUOKA福祉の就職相談会	R7. 3. 2	1名	静岡県社会福祉協議会	サーラシティ浜松
静岡県老施協西部支部総会	R7. 3. 5	1名	静岡県老施協西部支部	サーラシティ浜松
福祉職場説明会	R7. 3. 6	1名	浜松市社会福祉協議会	福祉交流センター
高校生と企業を結ぶ合同企業説明会	R7. 3. 19	1名	磐田市・袋井市	袋井市総合体育館
令和6年度 3月定例総会	R7. 3. 21	1名	静岡県老人福祉施設協議会	静岡県総合社会福祉会館

一 主な委員会・定例会議の開催状況

名称	開催状況
安全・業務改善委員会	第1回R6. 4. 18, 第2回6. 10, 第3回8. 12, 第4回10. 17, 第5回12. 9, 第6回R7. 2. 10
ケア向上委員会	第1回R6. 4. 22, 第2回6. 24, 第3回8. 26, 第4回10. 28, 第5回12. 23, 第6回R7. 2. 24
レク行事委員会	第1回R6. 5. 13, 第2回7. 18, 第3回9. 10, 第4回11. 21, 第5回R7. 1. 13, 第6回3. 10
リネン・環境整備委員会	第1回R6. 5. 27, 第2回7. 22, 第3回9. 23, 第4回11. 25, 第5回R7. 1. 27, 第6回3. 24
感染対策委員会	第1回R6. 5. 10, 第2回8. 9, 第3回9. 12, 第4回11. 15, 第5回R7. 2. 13
事故防止委員会	第1回R6. 4. 11, 第2回R6. 7. 11, 第3回R6. 10. 10, 第4回R7. 1. 9
身体拘束廃止委員会	第1回R6. 4. 11, 第2回6. 12, 第3回9. 12, 第4回12. 12, 第5回R7. 3. 13
虐待防止委員会	第1回R6. 4. 11, 第2回6. 12, 第3回9. 12, 第4回12. 12, 第5回R7. 3. 13
褥瘡予防対策委員会	第1回R6. 5. 10, 第2回8. 9, 第3回11. 15, 第4回R7. 2. 13
安全衛生対策委員会	第1回R6. 4. 11, 第2回R6. 7. 11, 第3回R6. 10. 10, 第4回R7. 1. 9
生産性向上委員会	第1回R6. 6. 12, 第2回R6. 9. 12, 第3回R6. 12. 12, 第4回R7. 3. 13
優先入所検討会	第1回R6. 4. 11, 第2回8. 9, 第3回12. 12, 第4回R7. 3. 11
職員会議	毎月第2木曜日開催
栄養ケアマネジメント会議	毎月第3木曜日開催
介護部会	毎月第3木曜日開催
ショートステイ運営会議	毎月第2木曜日開催
F L / S W連絡会議	毎月第2木曜日開催
ユニット会議	各ユニット1ヶ月に1回開催（開催できなかったユニットあり）
OJT担当者会議	第1回R6. 4. 18, 第2回10. 17
部署別目標進捗報告会	第1回R6. 10. 17, 第2回R7. 3. 20

二 防災訓練の実施状況

名称	実施日	参加者	備考
自主点検	R6. 4. 1	職員2名	施設館内
通報訓練	R6. 5. 23	職員8名	事務所
消火器使用訓練	R6. 6. 27	職員9名	施設駐車場
防災教育	R6. 7. 25	職員7名	地域交流室
2階避難訓練	R6. 8. 22	職員8名・利用者20名 計28名	2階フロアー
3階避難訓練	R6. 9. 26	職員8名・利用者20名 計28名	3階フロアー
訓練リエゾン	R6. 10. 31	職員18名	地域交流室
一般防災訓練	R6. 11. 7	職員18名・利用者93名 計111名	西之島の郷全館
新任職員防災教育	R6. 12. 12	職員3名	地域交流室
消火栓使用訓練	R7. 1. 23	職員6名	1階廊下
防災教育	R7. 2. 27	職員7名	地域交流室